

未来社会デザイン棟の運営方針

(目的)

- 1 この決定は、未来社会デザイン棟に関し、宿舎エリアのシンボルとして、学生宿舎と有機的に連携し、さらに、企業、研究機関、地域住民等との不断の連携を通じて、学生の自主性と社会性を涵養し、新たな社会的価値の共創を推進するために、運営方針を定めることを目的とする。

(運営方針)

- 2 未来社会デザイン棟は、次に掲げる理念に基づき運営するものとする。
 - 1) 多様な価値観の受容と社会性の育成
社会との積極的な交流を通じ、多様な価値観を認め合い、幅広いネットワークを構築することで、高い主体性と社会性を備えた人材を育成する場とする。
 - 2) 社会実装を伴う新たな学生文化の発信
教育研究のみならず、実際の社会事業環境を体験的に学ぶことで柔軟な発想を促し、新たな学生文化を世界へ発信する拠点とする。
 - 3) 学生・地域・社会が交差するコミュニケーションの促進
全ての学生に門戸を開き、学生間、さらには地域住民との緊密なコミュニケーションを促進する場とする。
 - 4) 知の融合の推進
多様な人々が共同研究等の活動を通じて、組織や分野の壁を越えた知の融合を推進する場とする。
 - 5) 社会課題に挑むマインド（やり抜く力：GRIT※）の醸成

新たな学理創成への挑戦はもとより、インターンシップや共同セミナーを通じ、学生が企業研究者等の視点に触れることで、社会課題の解決に粘り強く挑むマインドを醸成する場とする。

6) 産業界と接続する先進的人材育成の展開

産業界と学生を繋ぐハブとなり、次世代を見据えた先進的な人材育成教育プログラムを展開・提供する。

7) 「開かれた大学」の象徴としての具現化

あらゆる意味において「開かれた大学」を目指す本学の建学の理念を象徴し、学生が一つ屋根の下（Under One Roof）で社会と共に歩む姿勢を具現化する施設とする。

※GRIT：「Guts（度胸）：困難なことに立ち向かう」

「Resilience（復元力）：失敗しても諦めずに続ける」

「Initiative（自発性）：自分で目標を見据える」

「Tenacity（執念）：最後までやり遂げる」

（運営管理）

- 3 未来社会デザイン棟の管理運営は、学生生活を担当する副学長の指示の下、未来社会デザイン棟企画運営委員会事業推進チームが行うものとする。

（雑則）

- 4 この決定に定めるもののほか、未来社会デザイン棟の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 記

この決定は、令和8年6月1日から実施する。